

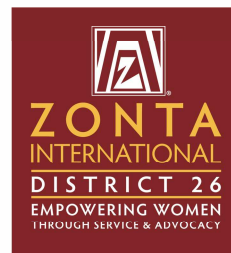


ガバナー通信



Vol. 12 2020年6月1日

国際ゾンタ26地区（2018-2020）ガバナー 木下 彰子



Tel. : 093-522-1699 Fax : 093-522-1768 E-mail: d26governor@zonta-d26.jp

ご挨拶

国際ゾンタが100周年を迎える今期、26地区のガバナーを務めさせて頂き、感謝に堪えません。素晴らしい仲間たちとの巡り合い、100周年に向けての貴重な経験、沢山の思い出満載の2年間でした。

スザンネ国際会長陣頭指揮のもと国際ゾンタが提唱した「児童婚の撲滅」に関してもエリア、クラブにまでその重要性を浸透させる努力を重ねたつもりです。

ジェンダーギャップ153か国中121位の日本において、日銀138年の歴史の中、5月11日付で初めて女性の役員が誕生したというニュースは、世界に衝撃を与えたようです。スザンネ国際会長はじめ世界のゾンシャン達からお祝いメールを頂きました。清水季子（しみずときこ）さん。2010年には日本初の女性支店長として高松支店で勤務されたようです。

「男女間の賃金格差の解消」を目指して展開しました署名活動も、お陰様で8,161人の署名が集まり、5月28日無事に請願頁第998号として受理されました。ご協力有難うございました。

新型コロナのパンデミックにより世界が激変していくことは疑いようありません。今後の私たちの生活がどのように変わっていくのか、またその変化にどのように対応していくのか、かなりの覚悟があるような気がしています。

シカゴでの世界大会は中止になりましたが、7月3日から8日までオンライン世界大会が開催されます。ガバナーや役員の交代は7月17日に行われますので、今期の役員の任期は7月16日までです。

残り少ない任期ですが、精いっぱい頑張ります。2年間共に活動して下さった素晴らしい理事会メンバー、地区役員、委員長の皆様、そして26地区の会員様すべてに御礼申し上げ、最後のガバナー通信のご挨拶とさせていただきます。

26地区ガバナー 木下 彰子

～世界大会最新情報～

- デリゲートトレーニング資料は準備中
- 6月9日～23日：「視点」入力可能
- 6月30日～7月8日：候補者ビデオ視聴可能（26地区は通訳を入れて、7月3日までに日本語でわかるようにします。）
- 6月30日～7月8日：「視点」アクセス可能（入力不可）
- 7月3日：デリゲートは投票の為のリンク入手
- 7月3日～8日：オンライン選挙及び審議事項投票
- 7月9日～12日：必要に応じて2回目の投票
- 7月15日：選挙結果発表
- 7月17日：2020-2022国際理事、指名委員、ガバナー交代式



国際委員・26地区理事・役員・委員長ご挨拶

国際奉仕委員会 委員 豊田 由起子(東京II)

この2年間は100周年のプロジェクト審査に追われ、英文の審査に大変苦労しました。日本からの応募もありましたが、全世界からの応募は地区として大きなプロジェクトもあり、他の団体との共同が目立ち、ゾンタのすばらしさを実感いたしました。リエイゾンではなく、26地区への情報提供ができなかったことも悔やまれましたが、今後は日本ならではのプロジェクトの推進もできればと考えます。

翻訳委員 関 紀美子(東京II)

ゾンタ本部と26地区の翻訳委員を兼任しての仕事は、たいへん興味深く、又、知識欲をかき立てるものでした。世界のゾンシャン達の活動とその意義を伝える様々な文書の翻訳を依頼され、応じてきました。原文は全体的に「硬い」内容の文章が多かったので、訳文もごつごつしていたかもしれませんが、なるべく分かりやすく皆さんにお伝えする努力をしました。私のゾンタ歴も36年となります。これからも少しでも皆さんのお役にたてれば幸いです。

翻訳委員 中野 わか子(塩釜)

「国際ゾンタ」からの情報を読むことは私にとって（大人としての勉強）であります。この貴重な体験のチャンスをくださった木下ガバナーに御礼申し上げます。学生を相手に基礎的な英語にしか触れていない私は、翻訳委員の大先輩 関紀美子様 に学ぶことが本当にたくさんありました。改めまして大先輩から受けたご助力に御礼申し上げます。

26地区 副ガバナー 岡澤 則子(大津)

ガバナーが、今期の国際プロジェクト等を26地区に伝え理解を求めて走る、その助けをする役目であった。心は100%そうであり、実状は何かにつけ指導を賜り支えられて来た。2月のガバナートレーニングも木下G同行通訳ボランティアがなければ理解不能だった。

ゾンタは、理解も誤解も共感も反感も愛憎をも織りなす人間関係によって成り立つことをこの2年で実体験した。人間なのだから仕方が無いのかもしれないが、その度に本来の国際ゾンタの崇高な理念に向かうことから遠ざかっている。残念でならない。「副」が取れる次の2年は、残籍してくれた会員の叱咤激励と共にゾンタ魂の1点を見つめて歩みたい。

26地区 エリア1AD 水野 幸子(函館)

2年間は楽しさと驚きと多忙に加え、マニュアルを見て悩んだり多忙でした。他のADの方々と深い話ができた事、エリア内の会員の皆様と楽しい会話がはずんだり改めてゾンタの仲間意識を体感し良い機会を頂きました。2年目はコロナで活動が中止になり痛手でしたが別の部分で人との繋がりができマイナスばかりではありませんでした。チーム木下の皆様と会員の皆様の温かさによって心からの感謝をもうしあげます。

26地区 エリア2AD 矢崎 和喜子(東京II)

エリアディレクターの任務を終えるにあたり、木下ガバナー、理事、役員、会員の皆様に支えて頂き感謝申し上げます。新型コロナウィルス感染拡大の為、全エリアミーティングが中止となる前代未聞の事態となりましたが、私達ADは協力し合い、短期間で1冊の活動報告書を作成しました。ゾンタの理念通り会員同士支えあいながら、同じ目的に向かって歩いていく大切さを実感しました。2年間貴重な経験をさせて頂き御礼申し上げます。

26地区 エリア3AD 上田 恵子(大阪I)

日本初の国際大会が成功裏に終了、感動と共に引き継いだ事が先日の様に浮かびます。ADになり、まず皆様にお会いしたいと、イベント、例会、周年行事とあちこち訪問したのが今となっては宝の時です。クラブ会長から受けた相談や悩みには、共に考え、又、喜びを共有した事は私自身の勉強になり感謝しています。ラストスパートと思っていた今年の2月からはコロナの為活動ができず残念です。皆様お力添えありがとうございました。

26地区 エリア4AD 和田津 美智代(鳴門)

エリアディレクターの任務は、私に、たくさんプレゼントをくれました。素敵なゾンシャンとの出会い、クラブ訪問した地域での初体験、私自身の内面に生じた新しい思考、そして全体のために活動できる大きな喜び！また、ゾンタ活動を通して、新たにできた地域社会とのつながり等々。一昨年40周年記念を迎えた鳴門ゾンタクラブの記念誌に「私にとってのゾンタとは宝石箱のような物」と記しましたが入りきりません！ゾンタに感謝！

26地区 会計 安田 芳子(岐阜)

「会計」は金庫番であり、お金の出入を明確に管理する作業があたりまえの事と云えます。しかし、組織によって、回収の内容、その他表現方法も異なりますので、やはり「やってみないと分かりません」というのが本当に本音です。事業年度の当初の会員数、その後2ヶ月毎の新入会員数を年間計6回各クラブへ計算書をメールし指定口座へお振込みいただく。

①「49クラブ人数の把握」②「振込期日の一部のルーズ性」

①は、2年間で副ガバナー（会員委員長）との連携で改善されました。さて②は??です。何はともあれ、この2年間みな様方との出会いは、私にとりまして一生の宝物です。

26地区 書記 福島 大亮(北九州)

2週間前ようやく地区大会議事録を各クラブ様に送付し終えました。今回はプログラム、資料集のようなミスが無いよう関係各位と校正を重ねました。書記として世界大会に参加する事への猛烈なプレッシャーと特別な期待の中、当地での開催が無くなった事は誠に残念です。経験不足、凡ミス多発の私の2年間は兎にも角にも猛省の連続で、その度に多くの大先輩方にご指導頂き、なにより励まして頂きました。皆様に感謝いたしております。

26地区 アドボカシー委員長 神部 真理子(仙台I)

国際ゾンタが活動の柱とした「Ending Child Marriage」の意味と実態を知るため、各エリアで講演会を開催。国内的には、まだまだ大きな男女間の賃金格差の解消をめざし、各クラブでの勉強会を呼び掛け、それが「請願書」の署名活動に繋がったと思います。ゾンタの力はすごいと再認識しました。社会の中でゾンタが果たせる役割の大きさを改めて知ると同時に、私自身が多くのことを学び得た2年間で、感謝し尽せない心地です。

26地区 アメリカイアハート奨学金委員長 松崎 恭子(横浜)

“10,000ドルの翼をあなたに！ゾンタと宇宙へGO”のスローガンに航空宇宙関連の工学、科学を研究している女子大学院生を対象に奨学金の募集を募りましたが、大学院生であることそして日本の新学期が4月、海外の新学期が9月などのハードルが高くなかなか候補者が集まりませんでした。ただ各大学(4校)から問い合わせあったことも事実ですのでこれから大学へのパイプを太く連絡を密に広げて行けたらと思っております。2年間貴重な体験をさせていただき感謝いたしております。

26地区 バイローズ委員長 西川 ひろこ(奈良)

世界大会でバイローズの審議に多くの時間をかけ改訂され、それでも、又、次の大会で更なる改訂が加えられるのは、クラブ運営の基盤である規則を時代の変化に即しつつ世界の会員で作りに上げていくという国際の姿勢だと思います。この2年間はバイローズと種々のマニュアルと向き合う密度の濃い期間でありました。お問い合わせやご質問から様々な課題を学ぶ事にもなりました。皆様にお支えいただき無事終えれます事感謝申し上げます。

26地区 100周年基本財産委員長 山崎 利恵(東京Ⅱ)

此のお役を頂いて、4年以上になりますが、26地区の皆様には、沢山のご協力を頂き感謝の申し上げようもありません！全クラブが寄付をしたのは日本のみのようです。いかに26地区の皆様は、国際にお心入れの強いことに、感謝しています。

新型コロナウイルスがなかったら、ガバナーが、国際大会において、26地区表彰台に登って頂くものと思っておりました。残念でなりません。今持ってドネーションを頂いております。日本の皆様の素晴らしさを味わっております。有り難うございました。

26地区 100周年記念事業委員長 上田 トクエ(奈良)

国際ゾンタ100年の節目に記念事業委員長として関わらせて頂きました事は、私自身にとって思い出深いゾンタメモリーの一コマとなりました。DVD制作、女性デー宣言、記念切手制作など3つの事業を実施しましたが、どれも国際ゾンタ100年の輝かしい奉仕の歴史と実績を誇らしく掲げながら、あくまでも地区内クラブが各地域でその活動をよりよく認知され、ゾンタの知名度向上を願う一念からのものでありました。2年間皆様方のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

26地区 センチュリアン 安田 多賀子(岐阜)

センチュリアンの任務とは、前任の針生峰子様からの引き継ぎ事項には「ガバナーのアドバイザーとして、ガバナーの指示により仕事をする」また来期に期待する文言には「解散したクラブやクラブ内の内輪もめのある場合に助けるのはセンチュリアンの仕事かもしれない」とありました。

ゾンタは業種や私生活、価値観の異なる人々が同じ目標に向かって活動を成功させていく奉仕団体。広く大きく物事を捉え、異なった意見にも耳を傾けて相手を認める順応性や寛容な心を養うことができる学びの場であると実感！！

ゾンタは「誠実」「信頼」「正直」100年の歴史が心に響きます。

26地区 財務委員長 山田 知里(松本)

COVID-19パンデミックにより世界中の流れが変わりました。平穏な日々が戻り、今まで通り活動できることが願いです。財務委員長として、地区大会、エリアミーティングのほか、チャリティパーティー、バザー、周年記念に出席し、各クラブの活動を学び、それをクラブに反映していくことも、この2年間の私の役目でもありました。このような機会を与えて下さった松本ゾンタクラブと、理事・役員の皆様へ深く感謝申し上げます。

26地区 財団大使 榎本 和(名古屋SORA)

2018年7月、横浜で行われた第64回世界大会での財団ブースのお手伝いに始まり各クラブの周年行事やイベントに参加し、沢山の記念寄付を頂きました。

特に地区大会におきましては、223万円の寄付を頂き26地区ゾンシャンの熱き想いを肌で感じました。しかし、2020年COVID-19の流行によりAM、記念すべき100周年の世界大会も中止となり、私の財団大使としての責務を十分に果たせないまま終えることになりました。

26地区の皆様のご支援に対し、心から感謝申し上げます。

26地区 ヒストリアン 真鍋 洋子(高松)

北九州地区大会で報告と記録はほぼ終了と考えておりました。しかし、誰も想像しなかったCOVID-19です。

4エリア エリア・ミーティングが中止。

シカゴコンベンションも中止。

2020年パンデミックの猛威でヒストリアンとして最後の記録は残念な記録、そして世界中のヒストリアン共通の記録になると思います。2年間貴重な経験をさせて頂きお礼申し上げます。

26地区 JMK奨学金委員長 羽藤 成代(和歌山)

今期JMK奨学金委員長を拝命して感じた事はJMKの応募時期であると思います。

3月卒業、4月入学の日本と9月入学の国際とのギャップが現在、国会で論議されている9月入学問題をまさに反映していると思います。

又、昨年の募集時には3名の推薦があり、ゾンタの皆様のご関心がJMKに向かって頂いた事に、深く感謝致しました。

ガバナー初め皆様のご協力を得て、何とかお役を務めさせて頂いた事に深くお礼を申し上げます。

26地区 リーダーシップ開発委員長 安田 俱子(京都Ⅱ)

リーダーシップ開発委員会は2018年、横浜で開催された国際大会で発足した新しい委員会です。ミッションは(1)地区運営に関して地区理事会のメンター、(2)クラブレベルでのリーダー育成で、国際委員長からの指示は26地区の現状に合わないものでした。スザンネ国際会長の了承のもとに、「ゾンタをよく知り誰もがリーダーに」をテーマにして、「18年のエリアミーティングでのワークショップと19年のオリエンテーション・マニュアルの作成をすることができました。

木下ガバナーの並々ならぬご指導とご理解の賜物と4エリアの委員各位共々感謝しております。改めてゾンタをより深く勉強することが出来た充実した2年間でした。有り難うございました。

26地区 会員委員長 岡澤 則子(大津)

2018.6.1 会員数941名で受け取った。次は何名で引き渡すのだろうか？ 2020.4.1現在の会員数は938名である。しかしこの5月末で大きく動くに違いない。この度のエリアミーティングのワークショップで会員拡大の一筋の光を見出すべく本音の意見交換に期待していた。委員長として、「ゾンタの神髄を忘れずに、人間関係の諸事に振り回されないで欲しい」と熱願するつもりだった。しかし全ては儚く消えた。この2年を振り返って、クラブ数減、会員数減を食い止めることが出来なかったことは不徳の致すところ(涙)(謝罪)、最後に会員拡大のワークショップが出来なかったことは残念無念(悔)(虚脱)である。

26地区 パーラメンタリアン 豊田 由起子(東京Ⅱ)

ゾンタに在籍し35年の時間が流れましたが、とても大切なお役目を仰せつかり、新たな学びの機会をいただきました。ゾンタを知るには基本を知ること、それを身近な人に知らせて活動を共にすること。日々新たな発見が知識を深めてくれたことに感謝できることに気づかせてくれた2年間でした。

運営の書やマニュアルはとても大切な資料であり何度も読み返すことにより、それが自然にゾンタを楽しめるものにしてくれました。

26地区 広報委員長 浅川 利恵子(山梨)

山梨ゾンタクラブは設立してまだ日が浅いクラブで、不勉強のところも多々あり会員の皆様におんぶに抱っこであったと反省いたします。まず委員長になって早々にゾンタパンフレットの作成がありました。これは木下ガバナー、豊田元ガバナーに助けいただきました。2019年10月の北九州地区大会に合わせ、ゾンタ100周年記念事業といたしまして、100周年実行委員の皆様とともに記念切手作成に携わらせていただいたことは光栄なことでした。またWEBマスターの佐藤様とともにFacebook、インスタグラムのページを立ち上げ情報を発信いたしました。役員として日本各地のミーティング、イベント等に参加し各地の会員の皆様と触れ合えたのも楽しい思い出です。今後人生においての糧になったと思います。本当にありがとうございました。

26地区 奉仕委員長 三輪 光代(姫路)

昨年4月クラブ奉仕活動現状調査をいたしました。50クラブより提出。地区大会で報告し、各クラブに送信しています。どのクラブも地域に密着した活動を工夫し、資金獲得やPRに役立っている様子を深く知りすべてのクラブへの尊敬の思いをさらに強くいたしました。何かのお役に立ててほしいです。

26地区 国連委員長 浅野 万里子(東京Ⅲ)

任を終えるにあたって、、、。2年前、3つの計画を立てました。

① 国連およびその機関と国際ゾンタとの連携に関連する情報を伝え、26地区会員の理解を深める ② UN Women (国連女性機関) や国連ウィメン日本協会と協力し、26地区として支援を行う ③ 国連女性の地位委員会 (以下 CSW) への認識を深めるための情報を提供し、毎年3月に開かれるCSWへの参加機会の企画・実施をする

2年が経ち、自己評価をすると60点位でしょうか。遠い存在である国連を身近なものにする難しさ、北京会議から25年目の節目の今年、COVID-19のために開会即休会となったCSW64等思いは残ります。次期国連委員長に大いに期待し、バトンを渡します。

26地区 WEBマスター 佐藤 智美(高松)

WEBマスターを拝命し、永久メール設定のご案内、地区名簿作成、ホームページ作成と更新、IT関連のご相談に4年間努めてまいりました。

年度の切り替えの前後数ヶ月は、ミッションが集中するため、本業との時間調整に苦勞しましたが、日本中のご経験豊富なゾンシャンと接する機会に恵まれました。

無事に任期を終える事が出来ますのも、ひとえに木下彰子ガバナーを始め理事会、委員長、各クラブ会長のみなさまからお力添えをいただいたおかげと心から感謝しております。ありがとうございました。

26地区 WIT奨学金委員長 岡部 文子(札幌IRIS)

26地区から国際の地区賞として、東京Ⅱゾンタクラブ推薦の「鄭 昭敏 (Zheng Zhaomin)」さんが受賞されています。

この奨学金は「Technology分野の女性とその素晴らしい研究」という分野を絞った奨学金制度です。この新しい奨学金制度が今後も続くことを願っています。奨学金委員長としては精いっぱい務めたと思っています。

26地区 YWPA奨学金委員長 佐佐木 アユ美(金沢)

2020年YWPA奨学金地区代表、理事会で決定！！ 仙台Ⅰゾンタクラブご推薦の、宮城県宮城第一高等学校3年 後藤早苗さん。

高校三年間、学童クラブを通し地域活動を積極的に行うことで「性別役割分業意識」に興味を持ち、将来は厚生労働省に勤務し「被扶養配偶者を保護する年金制度」の見直しに携わりたいと具体的な目標を持っている、素晴らしい女性です。

YWPA奨学金委員長として、何をして良いか解らない私は、前任の委員長たちに教えて頂きながら、無事任務を果たすことが出来ました。2019年度は、4人の応募者を頂き、選考にも力が入りました。私にとってこの2年間は、ゾンタ活動の重要さと、ゾンシャン同士のコミュニケーションの大切さを改めて実感しました。今後のゾンタ活動に活かしていきたいと思っています。有難うございました！

26地区 Z & GZクラブ委員長 岩田 真左子(札幌Ⅱ)

若い方々の力を信じて

地区大会において第4回Z&GZクラブサミットを開催することができたことと、福井FINEゾンタクラブのサポートの下、日本で14番目の啓新高等学校Zクラブが誕生したこと2つが、一番の思い出です。サミットの準備は結構大変でしたが、嵐の中出席してくれた若い皆さんが日頃の活動の成果を発表しあい、サミット宣言が採択された時には、疲れも吹っ飛びました。未来のために若いリーダーを育てるといふ国際ゾンタの理念を理解し、支援されているスポンサークラブの皆様へ深い敬意を表します。

2年間のご協力に心から感謝致します。

26地区 指名委員長 大須賀 はつ(仙台Ⅰ)

「もう一歩踏み出し、立候補して、ゾンタの世界で更に成長しましょう。リーダーとして得るスキル・知識・自信は莫大です。」ソニア国際指名委員長のこの力強いメッセージに私も励まされ、候補者名簿の公表に向けて務めました。先輩諸姉にご教示賜り、パイロースを紐解き、新たな学びもありました。勇気を持って立候補下さった皆様へ感謝の思いです。選ばれた次期役員の方々に、力量を発揮して活躍されます事を心より願っております。

26地区 指名委員 神田 加津代(奈良万葉)

2018年度から指名委員会として活動するはずが、突然の病発見とその後の闘病生活のため、地区役員どころか所属クラブの活動もままならない状況の中、歯がゆい思いをして過ごしておりました。そんな折木下ガバナー始め、多くのゾンシャンが私の体調を気遣い、暖かい言葉をかけてくださったことで、少しずつ元気を取り戻し、次期指名委員候補の選出の一端を担うことができたと思います。どんな困難も仲間とともに乗り越えることができることを痛感した二年でした。ありがとうございました。

26地区 指名委員 三田 恵美子(フェニックス神戸)

国際ゾンタ26地区を次世代に繋いでいく方々の選出という業務の一過程に関わりました。委員長や先輩のご指導を受けながらも、少しはお役に立てたのではないかと実感しています。この経験は大変貴重であり、意義ある2年間でした。

この業務を通じて、各地区のクラブをお訪ねするたびにゾンタの組織が身近になり、「一期一会」の言葉通り、幸せな時間を過ごすことができました。この間のみなさまの信頼と、ご理解に感謝いたします。

※紙面の構成上、勝手ながら皆様から頂いたご挨拶の原稿内容の一部割愛、編集、改行の変更などの修正を加えています。

